

**重点課題** ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎ 文字式の表し方の問題に課題がある。「ア」と誤って答えている生徒が49.8%。(通過率39.1%)

◇ 今回調査の重要課題と捉える領域、あるいは設問をあげ、誤答を分析し、生徒のつまずきを明記  
(通過率が30%未満あるいは無回答の割合が高い設問の中から絞る。)

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)**

◎ 小学校第5学年で学習する「単位量当たりの大きさ」の内容に係わる問題であるので、校区内の小学校と連携を取り、どのような指導をしているのか情報を収集する。その上で、意図的に割合を考えさせる場面を設定し、関係を表した図や具体的な数を用いた式や言葉の式を利用して数量の関係を正確に捉えさせ、文字式と比較して考えさせることを通して、数を用いた式と同様の考え方をを用いていることに気付かせる。特に、基準量は何かを常に意識させながら図や式と関連付けて説明させる指導を行う。

◇ 今までの指導を改善し、長期的な視点で、生徒にどのような力を付けるのかを明記 (通過率30%未満の生徒に対する具体的な手立ても記入)

※ 小中一貫した取組については、… **重点課題を中学校区の課題として捉え、小中一貫して取り組む内容を中学校区で統一して明記**

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生 休み明けテスト				2年生 H28 「基礎・基本」	1年生 H28 「基礎・基本」	1・2年生 学年末テスト
目標値	70.0%				75.0%	70.0%	75.0%, 80.0%
実施後数値							
◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	3年生 休み明けテスト			2年生 H28 「全国学力」	3年生 休み明けテスト		2年生 学年末テスト
目標値	60.0%			60.0%			0%
実施後数値							

3月16日までに、実施後数値を入力し、ホームページを更新する。

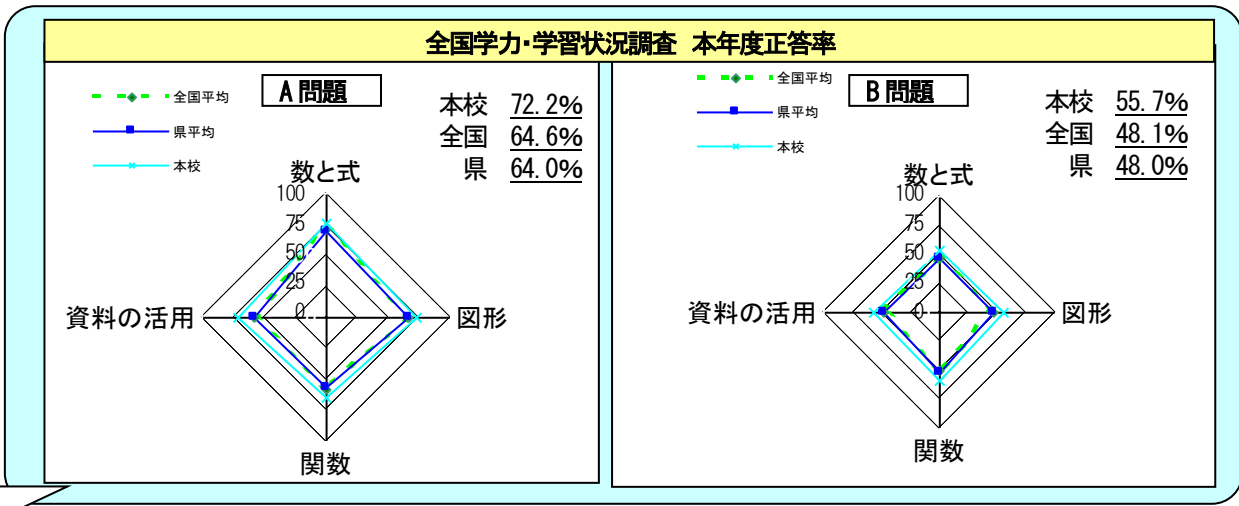
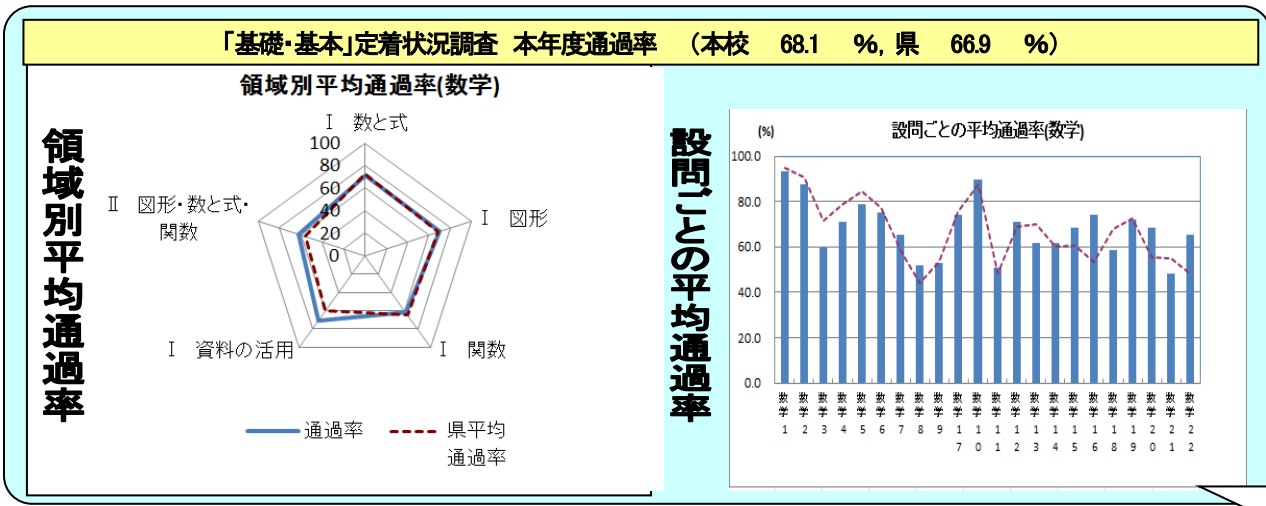
**来年度に向けて**

図形領域では、定着が不十分と考えられるので、今後も復習を継続する。

これまでの取組の課題とこれからの取組の方向性を明記  
※年間の取組後に記入



# 指導方法等の改善計画について [数学科]



**重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査**

◎①比例定数が分数である式の比例・反比例の判別に課題がある。  
(通過率48.3%)

◎②底面積と高さが等しい円錐と円柱の体積の関係を、言葉では理解しているが、具体的な数値において利用することに課題がある。(通過率50.6%)

◇A問題では、「関数の意味を理解している」が25.6% (県平均21.9%), B問題では「2つの図形の関係を回転移動に注目して捉え、数学的な表現を用いて説明することができる」が9.0% (県平均13.7%)と課題がある。

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)**

◎比例・反比例の判別場面で、判別する式の形が分数であるかといった見た目だけの判断にならないように、比例・反比例の定義を意識させる。そのために、比例定数が整数のものだけでなく、分数となるような比例関数を扱っていく。また、立体同士の関係を覚えさせるだけでなく、その関係を利用しなければ解くことが難しい問題を扱い、性質を利用する有用性を実感できるようにする。

◇関数かどうかの判別問題において、「～は…の関数である」ということを定義に戻って確認させる。また、図形の移動については、移動した先を記号で選択するのに加え、その移動の過程について説明する課題を設定する。

※小中一貫とした取組については、1年間を通じて計画的に重点課題となっている問題について、単元のまとめの学習をする際、発展問題・活用問題として幅広く学習し、式や言葉を用いて自分で説明できる表現力を身に付けさせる。重点課題について、職員全体で把握し、常に次につながる学習を意識して児童生徒の指導にあたる。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験	2年生 期末試験			2年生 H29「基礎基本」	2年生 学年末試験
目標値		40.0%	45.0%			55.0%	60.0%
実施後数値		45.3%	47.3%			62.5%	43.5%

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間試験	3年生 期末試験		3年生 H27「全国学力」	3年生 学年末	
目標値		25.0%	30.0%		40.0%	45.0%	
実施後数値		53.1%	54.8%		43.5%	33.3%	

**来年度に向けて**

関数分野への対策をしてきたが、まだ苦手意識が強い。引き続き補充の問題を解く取組をしたい。定義に基づいた問題などの充実が必要である。

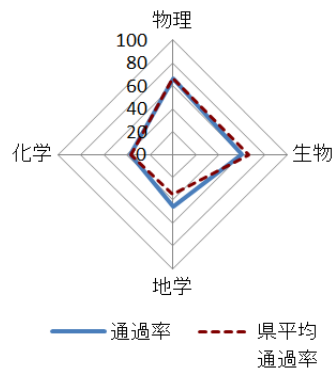
## 指導方法等の改善計画について〔理科〕

呉市立呉中央中学校

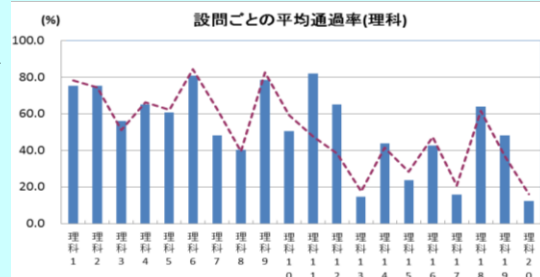
「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校52.2%, 県50.8%)

領域別平均通過率

領域別平均通過率(理科)



設問ごとの平均通過率



## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎①岩石の観察結果を基に考察し、岩石を分類することに課題がある。(通過率14.6%)
- ◎②固体の量を変化させて加熱したときの温度変化の様子を推測することに課題がある。(通過率12.4%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業等)

- ◎①実験や観察で得られた事実や既知の科学的な知識をもとに考察し、結論を導く過程を重視し、積極的に授業に取り入れるとともに、そこで得られた結論を根拠をもって説明する学習活動を組み入れる。また、分類の際には、フローチャートなどを用い、大きな分類から小さな分類へ順序を追って分類していくという分類の手順を踏ませる。
- ◎②物質に、固有な数値と条件によって変わる数値を意識させるために、生活の中で当てはまる事象をその都度例示する。また、グラフを読み取るスキルをつけさせるために、実験を通してグラフを書く力をつけさせる。
- ※小中一貫した取組については、基礎的・基本的な内容をおさえるとともに、問題解決の過程において、実験の目的を明確にさせ、結論を自分の言葉で表現させることや生活と関係付けて説明することに重点において指導する。

◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年中間試験		2年期末試験	2年 H29 「基礎・基本」		1年 H29 「基礎・基本」
目標値		60%		65%	65%		50%
実施後数値		47%		66%	60%		45%

◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年中間試験		2年期末試験	2年 H29 「基礎・基本」		1年 H29 「基礎・基本」
目標値		60%		65%	65%		50%
実施後数値		47%		66%	60%		45%

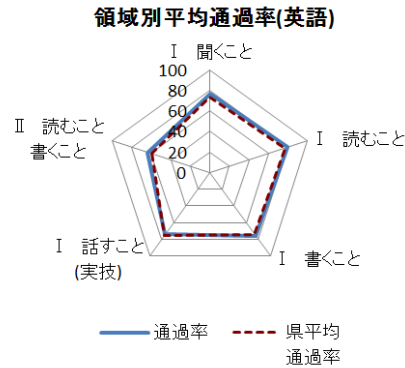
## 来年度に向けて

基礎的な科学的知識や技能の習得をより確実なものとする。また、問題解決の過程の中で、科学的知識を使用し、根拠に基づく結論を導く学習活動を充実させ、そこから得られた知識と生活とを関係付けさせる。

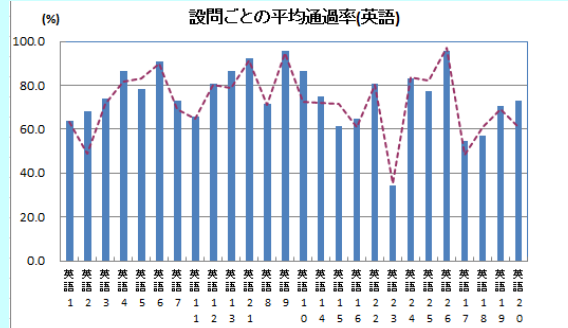


## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校74.6%, 県 72.4%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



### 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎①会話の場面に応じて、yes-no 疑問文を用いて、簡単な文を書くことに課題がある。(通過率61.4%)
- ◎②情報を整理しながら、その大切な部分を正確に読み取ることと、内容に関連した質問を書くことに課題がある。(通過率56.8% 無答率 14.8%)

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

- ◎①様々な疑問文を用いた会話を帯活動で繰り返し行い、尋ね方や応答の仕方をマスターさせる。また質問や依頼などの表現を用いた文をペアで練習し定着させるとともに、スキット作りをし、場面や状況に応じた応答ができるように指導を行う。
  - ◎②まとまりのある英語を聞き、聞き取りのポイントを示し、概要や要点を聞き取る学習活動と読み取りのポイントを示し、アンダーラインを引きながら情報を整理する学習活動を繰り返し指導する。さらには、整理した情報について英語で質問をする学習へとつなげていく。
- ※小中一貫した取組については、小学校の外国語活動では音声によるコミュニケーション活動を重視しているが、英語を使う必然性のある場面を具体的に設定し、相手意識をもって伝えたり理解したりすることに重点をおいて指導をする。

◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験	2年生 期末試験			2年生H29年 「基礎・基本」	2年生 学年末試験
目標値		70.0%	75.0%			80.0%	85.0%
実施後数値		65.0%	68.0%			82.0%	83.0%

◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験	2年生 期末試験			2年生H29 「基礎・基本」	2年生 学年末試験
目標値		60.0%	65.0%			70.0%	75.0%
実施後数値		58.0%	60.0%			74.5%	79.0%

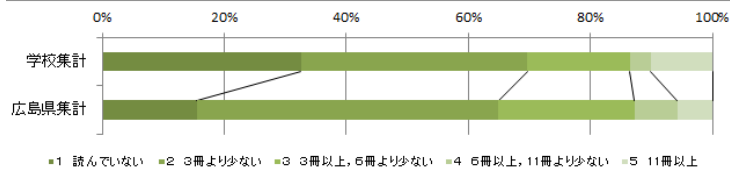
### 来年度に向けて

帯活動を活用し、身近な場面を想定しての英語での応答練習を継続して指導していく。さらに読むことや話すことの活動を書くことにつなげる指導を充実させる。

## 2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査）

### (1) 生活・学習

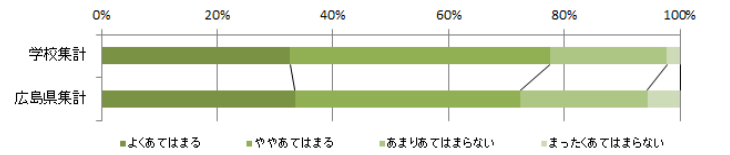
1ヶ月に何冊くらい本を読んでいますか。(教科書や問題集、漫画、雑誌はのぞきます。)



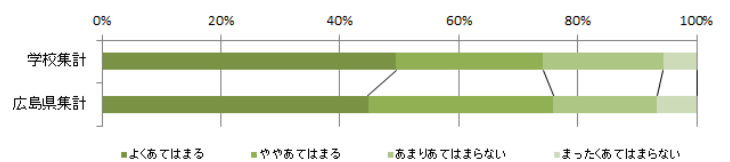
	生徒の回答についての課題(現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	1ヶ月の読書冊数が0～3冊以下の生徒の割合が高い。(69.7%)	未読者をなくすため、定期的にブックトークを実施する。帰りの会で「心に残った本」を紹介する1分間スピーチを行う。	2	未読者20.0%以下	生徒アンケート	2月	21%	+9.6
全国	学校の授業以外で普段、1日あたりの読書時間を10分より少ない生徒の割合が高い。(55.1%)	毎日、読書する習慣をつけるために「朝の時間に」本を読む時間を設ける。	3	読書時間30分以上の生徒30.0%以上	生徒アンケート	1月	34%	

### (2) 教科

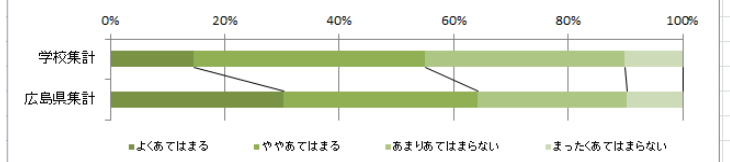
国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。



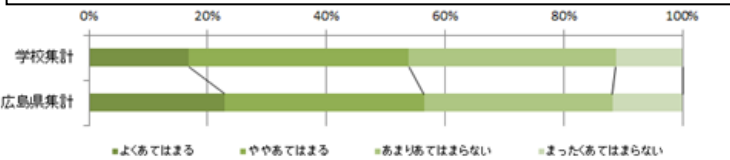
数学の授業では、式が何を表しているか考えたり、式に当てはまる問題を作ったりしています。



理科の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。



英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。



	生徒の回答についての課題(現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本 「国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。」の肯定的回答は56.2%であり、振り返りに課題がある	新たな視点の発見や意欲の向上につながる振り返りの時間を確保する。	2	65%	生徒アンケートの実施	2月	64.1%	+7.9
	全国 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり文章に書いたりすることが難しいと思う。(50.2%)	自分の考えを述べたり、文章の内容について説明したりする時間を設ける。	3	30.0%以下	生徒アンケートの実施	1月	43.1%	+7.1
数学	基礎・基本 数学の授業では、式が何を表しているか考えたり、式に当てはまる問題を作ったりしています。(56.2%)	答えが複数考えられる開かれた問題や、与えられた式から問題を作成する活動を取り入れる。	2	60%以上	生徒アンケートの実施	2月	62.2%	+6
	全国 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。(66.7%)	日常の事象に関連した題材、特に生徒がイメージしやすいものについて考察する場を設定する。	3	70%以上	生徒アンケートの実施	1月	79%	+12.3
理科	基礎・基本 理科の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。(55.1%)	授業の最後に、再度本時のめあてを振り返る時間と場を確保する。	2	65%以上	生徒アンケートの実施	2月	59%	+4
英語	基礎・基本 英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。(53.9%)	英語を聴く時には、メモを取る学習を繰り返し、英語で書いて自分の意見や感想を伝え合う学習の場を設定する。(ペア→全体)	2	60%以上	生徒アンケートの実施	2月	61%	+7.1